

令和5年度 第7回和水町教育委員会会議録

日時 令和5年12月21日（木） 午後1時30分～

場所 和水町三加和公民館 第2会議室（2階）

出席委員

教育長	米田加奈美
教育委員	陶山三千也
教育委員	藤井山京子
教育委員	坂口 幸裕
教育委員	牧嶋 隆光

出席事務局職員

学校教育課長	鍋島 忠隆
社会教育課長	益永 浩仁
学校教育課長補佐	永田 雅裕

1. 開 会 午後1時30分

（米田教育長）

ただいまより、令和5年度第7回教育委員会会議を始めます。よろしくお願いいたします。

2. 第5回議事録署名

（鍋島課長）

第5回の議事録署名を、陶山委員、それから藤井山委員にお願いいたします。

（第5回議事録へ署名）

3. 第7回議事録署名者選定

（鍋島課長）

第7回の議事録署名者選定です。坂口委員、牧嶋委員にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

（「はい」という声あり）

4. 教育長挨拶

※時候の挨拶

5. 報告事項等

1) 当面する教育上の諸問題について

（米田教育長）

- (1) 12月定例議会
- (2) 児童生徒関係
- (3) 教職員関係
- (4) 県立中学・私立中学受験状況

2) その他

※議会の報告

(鍋島課長)

小学校の標準服

不登校の児童生徒の居場所づくり・保護者会

(益永課長)

町の図書館と電子図書館の利用

中学校の部活動地域移行

スポーツ振興計画

遊具関係（公園づくり）

放課後の児童の居場所づくり

(鍋島課長)

学校事故について

6. 議題

1) 【議案第1号】施設管理支援員業務規程の制定について

(鍋島課長)

議案第1号、施設管理支援員業務規程の制定についてということで、御提案申し上げるようになっておりましたが、再度内容の検討が生じたので、この議題については、取り下げをさせていただきます。これまでの施設管理支援員に対する検討も、先ほど今後の対応で、再発防止に向けてというところにも書いておりましたが、これまでは支援員には口頭で注意を促していた、指導をしていたということで、口頭のみで終わってしまっていたので、具体的に明文化したものをきちっと策定しておく必要があるということで、このような規定を設けていきたいと思っています。

一応、皆さん方には、案という形でお示しをしているところですが、今まではお一人で4校、全ての小中学校の施設管理業務に当たっていただいていた。週3日、一日6時間という形で業務を行っていただいていた。それを、時間は8時20分から12時20分まで時間が刻まれていると思いますが、来年度は2人体制にして、1人が作業しているときは、1人はきちんと安全管理で、誰も近くに子どもたちがいないとか、作業を確認する役割を1人付けて、2人体制で4校を見てもらおうようにしようと考えていまして、時間も8時20分から12時20分というふうに、考えていたところです。

作業に当たっては、事前に学校のほうで、ここに示していましたが、業務計画表ですね、別紙様式1の、これに学校のほうで事前に作業に当たってもらう、この日に作業に入ってくださいという学校からの要望を受けて、日課をこんなふうに落としてもらう。作業の学校の

日課を落としてもらうという形で、事前に計画を、こちらの委員会に出していただいて、支援員に伝えて、作業に入っていただくようなことをイメージしていました。

しかし、今日の午前中、校長会で出た意見が、菊水小学校は、ほとんど毎日体育の授業が入っているので、おそらく子どもたちがいないときというのはないので、作業がたぶん、ほとんどできないんじゃないか。あるいは三加和小の校舎の前の遊具があったりするような芝生のところですね、あそこも同じで、たぶん8時20分から12時20分の間には、おそらくできないのではないかという意見が出て、逆にやっぱり土日・祝日、学校が休みの日に業務委託だけでやれないものかと。

費用が、もしこの支援員を2人雇うような形の費用と同じぐらいで、委託でできるのであれば、それも考えてはどうかというようなことを御意見いただきました。確かに、そこまでちょっと考えが及んでなかったというのものもあるんですけど、例えばシルバー人材センターに委託をすることも検討してはどうかと、考えているところです。

なので、これまでのように支援員を案で、2人体制の業務規程をつくっていますが、その方法でいくのか、もしくは、そういった委託という形で考えていくのか、その辺を含めて委員の皆さん方の御意見をお伺いしたいというふうに思います。

(米田教育長)

初めは土日になると、土日に子どもたちとか、小さい子が遊びに来たときに、何も知らずにいるのがちょっと怖いなと思ったので、やはり、ちゃんと先生たちがこの時間はここをするんだよって分かっていたほうがいいかなと思って、会計年度任用職員でしようと考えました。

今年も少し時間をずらして、早めにとかしてもらっていたのですが、やはり怪我とか、誰かが見ておいての業務のほうがいやすいということで、本当は暑いんですけど、もう勤務開始から12時20分、休憩しながらの作業で組もうということで、この日程を決めました。

ただ、今、御意見があったように、実際問題、その時間帯に運動場の草刈りができるかというと、非常に難しい状況にあるので、例えば今、樹木の剪定とかをするときには、メールで、この日は樹木剪定があるのでというような連絡は各学校でされているので、同じように、例えば運動場で、日曜日には何時から何時まで作業しますのでというお知らせをホームページだったり、安心メールとか、LINEとか、そういうのを使ってお知らせするというのはあるのかなと思います。そうなった場合のメリット・デメリット、こっちになった場合のメリット・デメリットを考えながら、どっちかに決めなくちゃいけないかなと思っているので、御意見をいただければなと思ってお願いします。

(藤井山委員)

施設管理支援員の業務内容というのは、どういうものですか。

(米田教育長)

今は草刈りと、草を運び出したりという作業。

(藤井山委員)

外仕事だけですか。

(米田教育長)

いえ、雨の日に急遽、窓をふいたり、届かないところの窓をふいたりとか、そういう作業とか、修理とかですね。

(藤井山委員)

電球を換えたりとかですか。

(米田教育長)

電球を換えたりはないんですけど、例えば、鳩対策とか、何かやりますよね。駆除のために何かをつくってもらったりとか、そういうのをしたこともありますし、畑の耕しとかされることもありました。

(藤井山委員)

畑もですか。余裕があったらですね。

(米田教育長)

余裕があったら、ここを耕しておいてくださいとか、堆肥を混ぜておいてくださいとか。

例えば、もう学校でいらなくなったものがあるので、それを処分場に持って行ってくださいとか、そういうお願いもしていました。今度するときには、除草のみを委託して、それ以外は学校でするようになります。

(藤井山委員)

校務支援員は。

(米田教育長)

校務支援員は、今は小学校にいます。中学校はいませんので。今、小学校の校務支援員は、スクールバスとか資料印刷とか、そういうような業務をされています。

(牧嶋委員)

うまく使い分けをしてもらいたいですね。どちらかという、要はハイブリッドじゃないですけど、並行して両方やってもらいたい。

というのは、先ほどのシルバー人材だと、いろんなところで雇われているのを見ますが、複数人でされているので、作業をやる方、補助をする方、安全対策管理をする方というチームプレー、場合によってはやっぱり高齢の方が働かれているんで、体調不良とかも含めての交代でもできるというふうなことなので、2人体制になっても、これこそ本当に体調悪いとか、夏場の暑い中に草刈りやってもらって倒れましたとなると、管理どうだったんですかと、町側が問われることにもなってくるんで、ここは作業内容も結構幅広いものですから、草刈りとか剪定とかは、やはりそこに少し専門的な知識、技能とか道具を持っているとか、安全対策も含めて、いわゆる委託という形でシルバー人材センターなんかにはちょっと出されたほうが、何となく短時間かつ効率的にできるし、ちょっと年間でというよりも、もうやる時期が大体見えてますよね。草刈りのシーズン、落ち葉を処分するシーズン、年間で計画も立てやすいでしょうし。

今の支援員の方たちは、ちょっと修理とか、なかなか先生方で手が届かないところの高所の作業だったり、窓拭きだったり、畑の管理だったり、廃棄物の処分だったりというふうな形で、それも年間で少し大きく捉えると、大体いつにどういうことがしたほうがいいのかというのは、もう経験的にあると思いますので、ちょっと御予算は全く度外視はしていますけれども、ちょっと少しすみ分けをして、それぞれ専門性というか、草刈りだけ行くなれば、土日とか祝日もしくは学校の振替休日の月曜日とか金曜日、そういうのがありますよね。そのタイミングでやっていただいて、プラス近所の小さい子が入り込まないためにも、安全対策も込みで、かつ町民等々への周知も含めてやっていくと。

どうしても、やっぱり学校の校内になってくると、当然、先生方がおられる平日昼間の時間帯で、この教室をするから、この教室だったら授業を使ってない教室なんで、窓拭きができますよとか、ちょっと修理ができますよとかいう形で、それぞれちょっと特徴というか、合ったような形で、僕はだから両方を活用すべきなのかなというふうに思いました。

(陶山委員)

どちらかというのではなくて、両方をうまく。

(坂口委員)

全く同感です。平常、お金がかかるかもしれませんが、草刈りは毎週するものでもないし、例えば休日の午前中だけとかで、たぶん終わると思うんですね。その日については、保護者だけじゃなくて、町民のみんな、よそから来ている人だって、ふらっと久しぶりに学校に来た。子ども連れで来られることもあるかもしれないので、その辺は分かるような形でやっていけば、お金のことは分かりませんが、できるだけ安全面を優先してやれればと思います。

(鍋島課長)

草刈りの作業についてだけ考えると、委託のほうがよろしいでしょうか。

(牧嶋委員)

ちょっと少しプラス、派生的ですけども、PTAとして草刈りを年1回、夏休みの最後に、特に小学校はコロナでちょっと中止してましたけど、再開していて。刈った草は、今回まさしく事故現場になった農機具倉庫の裏側に全部集めて捨ててくださいで、僕らは作業終わって、それでもう終わっちゃうんですね。

やっぱり、あそこをやった僕らとしては、そう言われたから、それでずっと僕も数年間やってきましたけども、あれをやっぱりPTAの作業でやるならば、やっぱりちゃんと校外の処分場に出すところまで、PTAの仕事まですべきだったのかなと。そうすると、支援員の方の御負担も減るし、この運び出し、溜まったから運び出すということじゃなくて、そこまでのことをPTAの美化作業もやっていたら、ちょっとまた変わったのかなっていう、ちょっと考えるところもありますので、今回のお話はちょっとPTA側とのやり取りとか、PTAもこの前も話がありましたけど、菊水地区の場合ですね、リサイクル活動で小学校に持ってきて、下ろすのを子どもたちが手伝ってくれることはいいことなただけど、正直、縦横無尽にトラックが走って、すぐまた戻ってということやっているので、あれも危険性、事故が起きなかったのがたまたま良かっただけだねっていうのは、PTAの役員、保護者からいろいろとお話も、横で私も聞いておりましたので、たぶん次回やるときは、もう一切入れるなって、たぶん新年度の役員から話が出るんじゃないかなと思いますので、ちょっとPTA側でやった刈った草や落ち葉とかも置きっぱなしにしない。そこも出すところまでを、学校側、教育委員会がPTAで連携して、どこに持って行けばいいんですかとか、そこまで決めていただければというふうに思います。

(鍋島課長)

ありがとうございます。できるだけそのように、連携できればと思います。その辺も、シルバー人材への委託も含めて検討させてください。

7. 閉 会

(米田教育長)

それでは、令和5年度第7回教育委員会会議を終わります。

ありがとうございました。

閉会時刻 午後3時00分